

建築工事特記仕様書		1. 7. 施工管理体制に関する書類の提出		1. 20. 技能士 (1.5.2)		1. 23. 化学物質の濃度測定 (1.5.9)	
I 工事概要		8. 設備工事との取合い		21. 施工の検査等 (1.5.5)		24. 技術検査 (1.6.2)	
1. 工事名称		9. 電気保安技術者 (1.3.3)		22. 施工の立会い等 (1.5.7)		25. 完成図 (1.7.1)(1.7.2)	
2. 工事場所		10. 施工条件 (1.3.5)				26. 保全に関する資料 (1.7.3)	
3. 工期	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	11. 火災保険等				27. 完成写真	
4. 用途地域等	都市計画区域 (内・外) 用途地域 ( ) 防火地域等 (防火・準防火・指定なし・22条) その他の地域・地区 ( )	12. 住宅瑕疵担保責任					
5. 構造規模等	( ) 造 地上 階 地下 階	13. 発生材の処理等 (1.3.11)					
	主要用途	14. 災害発生時の安全確保 (1.3.9)					
	敷地面積	15. 材料の品質等 (1.4.2)					
	建築面積	16. 環境への配慮 (1.4.1)					
	延べ面積	17. 材料の検査に伴う試験 (1.4.5)					
6. 別途工事		18. 特別な材料の工法					
7. その他		19. 法令等の適用区分					
II 建築工事仕様		1. 共通仕様 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて「公共住宅建設工事共通仕様書 建築編 (令和4年度版)」(以下、「公住仕 建築編」という。)による。		1. 一般事項		・工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ・工事受注者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。	
2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ただし、○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、ともに適用する。 3) 項目又は特記事項に記載の ( ) 内の表示番号は、「公住仕 建築編」の該当項目を示す。 4) 特記事項の「機材の品質・性能基準」は、公共住宅建設工事機材の品質・性能基準 (公共住宅事業者等連絡協議会) を示す。		2. 設計図書等の取り扱い (1.1.1)(1.1.6)		2. 設計図書等の取り扱い (1.1.1)(1.1.6)		・本工事は工事請負契約に基き、施工する。 ・設計図書相互に相違がある場合の優先順位は下記による。 1. 質問回答書及び追加説明書 2. 現場説明書 3. 特記仕様書 4. 図面 5. 公住仕 建築編(令和4年度版) 6. 公共住宅建設工事機材の品質・性能基準(令和4年度版) 7. 国土交通大臣官房官庁営繕部「敷地調査共通仕様書」(令和4年版) 8. 国土交通大臣官房官庁営繕部「建築物解体工事共通仕様書」(令和4年版) 9. JISその他公共規格及びこれに準ずる規格	
3. 概成工期 (1.2.1)		3. 概成工期 (1.2.1)		3. 概成工期 (1.2.1)		3. 概成工期 (1.2.1)	
4. 工事の記録等 (1.2.4)		4. 工事の記録等 (1.2.4)		4. 工事の記録等 (1.2.4)		4. 工事の記録等 (1.2.4)	
5. 設計GL		5. 設計GL		5. 設計GL		5. 設計GL	
6. 工事実績情報システム(CORINS)への登録 (1.1.4)		6. 工事実績情報システム(CORINS)への登録 (1.1.4)		6. 工事実績情報システム(CORINS)への登録 (1.1.4)		6. 工事実績情報システム(CORINS)への登録 (1.1.4)	
章 項 目		特 記 事 項		特 記 事 項		特 記 事 項	
1. 一般事項		7. 環境への配慮 (1.4.1)		7. 環境への配慮 (1.4.1)		7. 環境への配慮 (1.4.1)	
2. 設計図書等の取り扱い (1.1.1)(1.1.6)		8. 特別な材料の工法		8. 特別な材料の工法		8. 特別な材料の工法	
3. 概成工期 (1.2.1)		9. 法令等の適用区分		9. 法令等の適用区分		9. 法令等の適用区分	
4. 工事の記録等 (1.2.4)		10. 材料の品質等 (1.4.2)		10. 材料の品質等 (1.4.2)		10. 材料の品質等 (1.4.2)	
5. 設計GL		11. 試験機関		11. 試験機関		11. 試験機関	
6. 工事実績情報システム(CORINS)への登録 (1.1.4)		12. 特別な材料の工法		12. 特別な材料の工法		12. 特別な材料の工法	
		13. 発生材の処理等 (1.3.11)		13. 発生材の処理等 (1.3.11)		13. 発生材の処理等 (1.3.11)	
		14. 災害発生時の安全確保 (1.3.9)		14. 災害発生時の安全確保 (1.3.9)		14. 災害発生時の安全確保 (1.3.9)	
		15. 材料の品質等 (1.4.2)		15. 材料の品質等 (1.4.2)		15. 材料の品質等 (1.4.2)	
		16. 環境への配慮 (1.4.1)		16. 環境への配慮 (1.4.1)		16. 環境への配慮 (1.4.1)	
		17. 材料の検査に伴う試験 (1.4.5)		17. 材料の検査に伴う試験 (1.4.5)		17. 材料の検査に伴う試験 (1.4.5)	
		18. 特別な材料の工法		18. 特別な材料の工法		18. 特別な材料の工法	
		19. 法令等の適用区分		19. 法令等の適用区分		19. 法令等の適用区分	
		20. 技能士 (1.5.2)		20. 技能士 (1.5.2)		20. 技能士 (1.5.2)	
		21. 施工の検査等 (1.5.5)		21. 施工の検査等 (1.5.5)		21. 施工の検査等 (1.5.5)	
		22. 施工の立会い等 (1.5.7)		22. 施工の立会い等 (1.5.7)		22. 施工の立会い等 (1.5.7)	
		23. 化学物質の濃度測定 (1.5.9)		23. 化学物質の濃度測定 (1.5.9)		23. 化学物質の濃度測定 (1.5.9)	
		24. 技術検査 (1.6.2)		24. 技術検査 (1.6.2)		24. 技術検査 (1.6.2)	
		25. 完成図 (1.7.1)(1.7.2)		25. 完成図 (1.7.1)(1.7.2)		25. 完成図 (1.7.1)(1.7.2)	
		26. 保全に関する資料 (1.7.3)		26. 保全に関する資料 (1.7.3)		26. 保全に関する資料 (1.7.3)	
		27. 完成写真		27. 完成写真		27. 完成写真	
		28. 図面		28. 図面		28. 図面	
		29. 図面 No		29. 図面 No		29. 図面 No	
		30. 縮尺		30. 縮尺		30. 縮尺	
		31. 工事名称		31. 工事名称		31. 工事名称	
		32. 図面名称		32. 図面名称		32. 図面名称	
		33. 1		33. 1		33. 1	



6. コンクリート工事	1. コンクリートの種類等 (6.2.1) (表6.2.1) (6.2.1~6.2.4) (表6.2.2)	種別 ※Ⅰ類(JIS A 5308への適合を承認されたコンクリート) ・Ⅱ類(JIS A 5308への適合したコンクリート) ・普通コンクリート: 36N/mm <sup>2</sup> 以下 Fc(N/mm <sup>2</sup> ) スランプ(cm) 施工箇所 ・24 ・ ※15又は18 ・ 基礎・基礎梁・土間スラブ ・24 ・ ※18 ・ 柱・梁・スラブ・壁 ・ ・ ・ ・ ・ ・	6. コンクリート工事	10. 寒中コンクリート (6.11.1) (6.11.2)	適用期間 ・ 図示 ・ 構造体強度補正值(S) ・公任仕6.11.2(3)(7) ・ 積算温度を基に定める( )	7. 鉄骨工事	1. 鉄骨製作工場 (7.1.3)	鉄骨製作工場の加工能力 ・国土交通大臣の構造方法の認定を取得している鉄骨工場又は同等以上の能力のある工場(・S ・H ・M ・R ・J)グレード以上 ・監督職員の承諾する製作工場	7. 鉄骨工事	11. 柱底均しモルタル (7.2.9) (表7.2.5)	・無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料、割合等 ※公任仕7.2.9(2) ・ ・公任仕7.2.9(1)によるモルタル
	(6.2.1) (6.10.2)	・軽量コンクリート: 27N/mm <sup>2</sup> 以下 (特記事項は「9. 軽量コンクリート」に示す)		11. 暑中コンクリート (6.12.2)	構造体強度補正值(S) ※6N/mm <sup>2</sup> ・		2. 施工管理技術者 (7.1.3) (7.1.4)	※適用する		12. 鉄骨の仮組 (7.3.10)	※行う(範囲) ・ 図示 ・ ( )
	(6.2.1) (6.2.1)	・建築基準法第37条第二号の規定に基づき国土交通大臣の認定を受けたコンクリート 適用箇所( )		12. マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2)	セメントの種類 混和剤の種類 スランプ(cm) 適用箇所 ・普通ポルトランドセメント 混和剤の種類 ※公任仕6.13.2(2)(7) ・中熱ポルトランドセメント ※公任仕6.13.2(2)(7) ・低熱ポルトランドセメント ・ ・高炉セメントB種 混和剤の種類 ・フライアッシュセメントB種 ※公任仕6.13.2(2)(4) ・シリカセメント 構造体強度補正值(S) ※公任仕 表6.13.1		3. 鋼材の種類 (7.2.1)	種類等 種類の記号 適用箇所(主要な部分) 規格番号 ・SS400 ・SS490 ・SS540 ・SM400 A B C ・SM490 A B C ・SM490 YA YB ・SM520 B C ・SMA400 AW AP BW BP CW CP ・SMA490 AW AP BW BP CW CP ・SN400 A B C ・SN490 B C ・SNR400 A B ・SNR490 B ・SSC400 ・SMH400 ・STK400 ・STK490 ・STKR400 ・STKR490 ・STKN400 W ・STKN400 B ・STKN490 B ・JIS G 3106 ・JIS G 3114 ・JIS G 3136 ・JIS G 3138 ・JIS G 3350 ・JIS G 3353 ・JIS G 3444 ・JIS G 3466 ・JIS G 3475		13. 溶接技能者の技量付加試験 (7.6.3)	試験の要領 ・ 図示 ・
	(6.3.2)	構造体強度補正值 ※公任仕 表6.3.2		13. 無筋コンクリート (6.14.1)	種別 Fc(N/mm <sup>2</sup> ) スランプ(cm) 適用箇所 ※普通コンクリート ※18N/mm <sup>2</sup> ・ ※15又は18 ・ 公任仕6.14.1(4) ・ 図示 ・		(7.2.10)	形状及び寸法 ・ 図示 ・ 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 ・行う(適用箇所) ・ 行わない		14. 溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)	開先の形状 ・ 図示 ・ 鋼製エンドタブの切断箇所及び範囲 ・ 図示 ・ 切断面の仕上げ ※公任仕7.6.7(1)(a)(b)② スカラップの形状 ・ 図示 ・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 ・ 図示 ・
	2. セメント (6.3.1)	種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て) ( ) ・高炉セメントB種 適用箇所( ) ・フライアッシュセメントB種 適用箇所( ) ・普通エコセメント 適用箇所( ) ・再生骨材Hを使用する箇所( ) (6.7.2) 湿潤養生期間( )日以上 (6.8.4) 型枠の最小存置期間 ・コンクリートの材齢による場合 日 ・コンクリートの圧縮強度による場合 N/mm <sup>2</sup> 以上		14. 流動化コンクリート (6.15.1)	種別 ベースコンクリートのスランプ(cm) 流動化コンクリートのスランプ(cm) 適用箇所 普通コンクリート ・10 ・12 ・15 ・18 ・21 ・ 図示		4. 高力ボルト (7.2.2)	種類 ・トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト ・建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト		15. 溶接部の試験 (7.6.12)	外観試験 平成12年建設省告示1464号第二号に関する試験 試験方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2受入検査による。 ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② ・ JASS 6付則6の付表3「溶接」に関する試験 試験方法 ・JASS 6 10.4「受入検査」e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。 ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。 ・完全溶込溶接部の超音波探傷試験 工場溶接の場合 AQL(%) ※4.0 ・2.5 節 全て 検査水準 ※第6水準
	(6.3.2)	公任仕6.3.2(4)(f)の①~③以外の混和剤 ・混和剤( ) ・混和剤( ) 使用方法 ・ 使用量 ・		15. 高強度コンクリート (6.16.1~6.16.3)	混和剤 Fc(N/mm <sup>2</sup> ) スランプ又はスランプフロー(cm) 適用箇所 ※高性能A E減水材 ・40を超え60以下 ・スランプ フロ-60以下 ・60を超え80以下 ・スランプ フロ-60~65 ・スランプ ・スランプ フロ-		(7.3.2)	ボルトの寸法 ねじの呼び ・ 図示 ・ ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示 ・		16. 錆止め塗装 (7.8.2)	耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示 ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・ 公任仕7.8.2(1) ・ 図示 下記以外の塗料の種類は18章による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・ B種 ・耐火被覆材が接着する面の塗料種類
	3. 骨材 (6.3.1)	フェロニッケルスラグ骨材、銅スラグ骨材及び電気炉酸化スラグ骨材 ・使用する 適用箇所( ) アルカリシリカ反応性区分 ※A ・ B		16. コンクリートの単位水量測定 (6.5.1)	・行う ・行わない 実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m <sup>3</sup> に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、公任仕6.3.2(4)(c)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次のとおりとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m <sup>3</sup> の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m <sup>3</sup> の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後設計値±15kg/m <sup>3</sup> 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m <sup>3</sup> を超える場合は、生コンを打ち込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m <sup>3</sup> 以内であることを確認する。さらに、設計値±15kg/m <sup>3</sup> 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を書面(計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験期間は該当コンクリート製造所以外の機関とする。		5. 普通ボルト (7.2.3)	ボルト及びナットの材料 ※公任仕 表7.2.3 ボルトの形状及び寸法 ねじの呼び ・ 図示 ・		17. 耐火被覆 (7.9.2~7.9.8)	種別 材料・工法 耐火性能(時間) 適用箇所(部位・部分) ・耐火材吹付け ・乾式吹付け ロックウール ・半乾式吹付け ロックウール ・湿式ロックウール ・耐火材張り ・繊維混入 けい酸カルシウム板 ・耐火材巻付け ・高断熱ロックウール ・ラス張りモルタル塗り ・耐火塗料
	4. 混和剤 (6.3.1)	混和剤の種類 ※公任仕6.3.1(4)(a) ・ 混和剤の種類 ※公任仕6.3.1(4)(b) ・		17. 圧送業者及び技能者	・圧送技能者 圧送業者は、職業能力開発促進法(昭和44年法律第64号)に基づくコンクリート圧送施工技能士を1名以上(うち1名は同法に基づく1級コンクリート圧送施工技能士)現場に配置できるものとする。 ・技能者 コンクリート圧送施工技能士及びその他の技能者は、労働安全衛生法第59条3項に基づく、車両系建設機械(コンクリート打設用)の作業措置の操作の業務に係る特別教育を修了し、(一社)全国コンクリート圧送事業団体連合会が行う当該年度の全任連統一安全・技術講習を原則として受講した者とする。 ・合格証及び終了証明書等 コンクリート圧送施工技能検定合格証及び特別教育の修了証明書及び全任連統一安全・技術講習会(有効期間内のもの)の写しを監督職員に提出する。		6. アンカーボルト (7.2.4)	種類 ・構造用アンカーボルト ・ ABR400 ・ ABR490 ・建方用アンカーボルト ・ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※公任仕 表7.2.3		18. アンカーボルトの設置等 (7.10.3) (表7.10.1)	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・ 図示 ・ 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・ 図示 ・ 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法の種類 ・ A種 ・ B種
	5. 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4)	打継ぎ位置 梁及びスラブ 柱及び壁 ※スパンの中央又は端から1/4付近 ※スラブ、壁又は基礎の上端 ・ 図示 ・ 図示 ・					(7.3.2)	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示 ・		(表7.10.2)	柱均しモルタルの厚さ及び工法 厚さ mm 種別 ※A種 ・
	(6.8.1)	目地寸法(ひび割れ誘発目地を含む) ・公任仕9.9.3(1)(7) ・ 図示 ひび割れ誘発目地の位置、形状 ・ 図示 ・					7. 溶接材料 (7.2.5)	・公任仕7.2.5(1)(2) ・ 図示 ・		19. 軽量形鋼構造 (7.11.2)	ボルトの接合方法 ・ 図示 ・ 普通ボルト接合
6. コンクリートの仕上り (6.2.5) (表6.2.4) (表6.2.5)	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 種別 施工箇所 ・ A種 ・ 図示 ・ B種 ・ 図示 ・ C種 ・ 図示 コンクリートの仕上げの平坦さ 種別 施工箇所 ・ a種 ・ 図示 ・ b種 ・ 図示 ・ c種 ・ 図示			7. 打増し厚さ(打放し仕上げ部) (6.8.1)	打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・ 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・ 打放し範囲 ・ 図示 ・						
7. 打増し厚さ(打放し仕上げ部) (6.8.1)	打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・ 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・ 打放し範囲 ・ 図示 ・			8. ターンバックル (7.2.6)	種類 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト ・ 建築用ターンバックル胴 ※割枠式 ・ ねじの呼び等 ・ 図示 ・						
8. 型枠 (6.8.2)	せき板の材料 ※公任仕6.8.2(1)(7),(4) ・合板(厚さ ※12mm) ・ ・断熱材を兼用した型枠 使用箇所 ・ 図示 ・ ・MCR工法用シート 適用箇所 ・ 図示 ・ スリーブの材質、規格等 ※公任仕6.8.2(9)(4)(a)~(d) ・ 図示 ・ 地中に水密を要する部分 ※つば付き銅管 ・ 地中に水密を要しない部分 ※硬質ポリ塩化ビニル管 ・			9. 床構造用デッキプレート (7.2.7) (7.7.8)	材質、形状及び寸法 種別 適用箇所 材質・形状・寸法 溶接方法 ・デッキプレート単独の構法 ・図示 ・アークスポット溶接 ・隅肉溶接 ・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法 ・図示 ・アークスポット溶接 ・焼き抜き溶接 ・						
9. 軽量コンクリート (6.10.1) (6.10.2) (表6.10.1)	種類 適用箇所 気乾単位容積質量(t/m <sup>3</sup> ) ・1種 ・ 図示 ・2種 ・ スランプ ※21cm ・			10. スタッド (7.2.8)	スタッドの種類 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22						

<p>8. コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事</p> <p>1. 補強コンクリートブロック造 (8.2.2)</p> <p>(8.2.3) モルタルの調合(容積比) ブロックの区分がA(08)、B(12)、C(18)の場合で、目地幅が10mm程度の場合 ※公住仕 表8.2.1 上記以外( )</p> <p>(8.2.5) 各部の配筋 図示</p> <p>(8.2.7) 目地仕上げ 押し目地仕上げ 化粧目地仕上げ</p> <p>(8.2.8) まぐさを受ける開口部両側のブロックにおいて、モルタル及びコンクリートで充填するブロックの範囲 図示</p> <p>2. コンクリートブロック積壁及び塀 (表8.3.1)</p> <p>(8.3.3) モルタルの調合(容積比) ブロックの区分がA(08)、B(12)、C(18)の場合で、目地幅が10mm程度の場合 ※公住仕 表8.2.1 上記以外</p> <p>(8.3.4) 鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 図示</p> <p>各部の配筋 図示</p> <p>3. ALCパネル (8.4.2)~(8.4.5) (表8.4.2~表8.4.4)</p> <p>材料、構法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>パネルの区分</th> <th>単位荷重 (N/m<sup>2</sup>)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅及び長さ (mm)</th> <th>耐火性能 (時間)</th> <th>構法の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外壁用</td> <td>・一般 ・コーナー ・意匠</td> <td>・平 ・意匠</td> <td>・100</td> <td>・図示</td> <td>・有(1)</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁用</td> <td>・一般 ・コーナー ・意匠</td> <td>・平 ・意匠</td> <td>・100</td> <td>・図示</td> <td>・有(1)</td> <td>・C種 ・D種</td> </tr> <tr> <td>・屋根版用</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・100</td> <td>・図示</td> <td>・有(0.5)</td> <td>・F種</td> </tr> <tr> <td>・床版用</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・100</td> <td>・図示</td> <td>・有( )</td> <td>・F種</td> </tr> </tbody> </table> <p>(8.4.2) パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材 図示</p> <p>(8.4.3)(8.4.5) ・外壁パネル構法、屋根及び壁パネル構法</p> <p>(8.4.4) ・耐風圧性能( ) 耐震性能( ) ・間仕切壁パネル構法 耐震性能( )</p> <p>(8.4.3)~(8.4.5) パネル幅の最小限度(mm) ・300未満( 図示 )</p> <p>(8.4.3)(8.4.4) パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取合い部の伸縮目地の目地幅(mm) ※10~20 図示</p> <p>伸縮目地への耐火被覆材の充填 適用する 適用しない</p> <p>4. 押出成形セメント板 (ECP) (8.5.2)~(8.5.4) (表8.5.1) (表8.5.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>形状</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> <th>工法の種別</th> <th>耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・外壁パネル</td> <td>・F (フラットパネル)</td> <td>・50・60</td> <td rowspan="3">600</td> <td rowspan="3">・A種 ・B種</td> <td rowspan="3">国土交通大臣の認定を受けたもの</td> </tr> <tr> <td>・D (デザインパネル)</td> <td>・50・60</td> </tr> <tr> <td>・T (タイルベースパネル)</td> <td>・60</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・間仕切壁パネル</td> <td>・F (フラットパネル)</td> <td>・50・60</td> <td rowspan="3">600</td> <td rowspan="3">・B種 ・C種</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・D (デザインパネル)</td> <td>・50・60</td> </tr> <tr> <td>・T (タイルベースパネル)</td> <td>・60</td> </tr> </tbody> </table> <p>(8.5.3) ・外壁パネル工法 耐風圧性能( ) 耐震性能( )</p> <p>(8.5.4) ・間仕切壁パネル工法 耐震性能( )</p> <p>(8.5.3)(8.5.4) 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネルの製造所の仕様</p> <p>パネル幅の最小限度(mm) ・300未満( 図示 )</p> <p>パネル相互の目地幅(mm)</p> <p>長辺 ・10以上 図示</p> <p>短辺 ・15以上 図示</p> <p>出隅及び入隅のパネル接合部の目地幅(mm) ※15程度(シーリング材を充填) 図示</p> <p>(8.5.5) 溝掘及び開口部の措置</p> <p>やむを得ず設備開口等を設ける場合のパネルの開口寸法等の限度 図示</p>	用途	パネルの区分	単位荷重 (N/m <sup>2</sup> )	厚さ (mm)	幅及び長さ (mm)	耐火性能 (時間)	構法の種別	・外壁用	・一般 ・コーナー ・意匠	・平 ・意匠	・100	・図示	・有(1)	・A種 ・B種	・間仕切壁用	・一般 ・コーナー ・意匠	・平 ・意匠	・100	・図示	・有(1)	・C種 ・D種	・屋根版用	—	—	・100	・図示	・有(0.5)	・F種	・床版用	—	—	・100	・図示	・有( )	・F種	工法	形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法の種別	耐火性能	・外壁パネル	・F (フラットパネル)	・50・60	600	・A種 ・B種	国土交通大臣の認定を受けたもの	・D (デザインパネル)	・50・60	・T (タイルベースパネル)	・60	・間仕切壁パネル	・F (フラットパネル)	・50・60	600	・B種 ・C種		・D (デザインパネル)	・50・60	・T (タイルベースパネル)	・60	<p>9. 防水工事</p> <p>1. アスファルト防水 (9.2.2)(9.2.3) (表9.2.3~表9.2.6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>絶縁用シート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋根保護防水</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋根保護密着工法</td> <td>・A-1 ・A-2 ・A-3</td> <td></td> <td>※ポリスチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 またはフラットヤーンクロス70g/m<sup>2</sup>程度</td> </tr> <tr> <td>屋根保護絶縁工法</td> <td>・B-1 ・B-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋根保護密着絶縁工法</td> <td>・A1-1 ・A1-2 ・A1-3</td> <td>(厚さ) mm</td> <td>※フラットヤーンクロス 70g/m<sup>2</sup>程度</td> </tr> <tr> <td>屋根保護絶縁断熱工法</td> <td>・B1-1 ・B1-2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(9.2.2) 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※公住仕 表9.2.3及び表9.2.4</p> <p>・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ・R種 ・N種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※公住仕 表9.2.5及び表9.2.6</p> <p>・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ・R種 ・N種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>押え金物 ※アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度</p> <p>(表9.2.4) (表9.2.6)</p> <p>(9.2.2) 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※公住仕 表9.2.3及び表9.2.4</p> <p>・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ・R種 ・N種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>押え金物 ※アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度</p> <p>立上り部への断熱材及び絶縁シートの設置 適用する 適用しない</p> <p>(9.2.2)(9.2.3) (表9.2.7) (表9.2.8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋根露出防水</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋根露出絶縁工法</td> <td>・D-1 ・D-2</td> <td></td> <td>※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>屋根露出絶縁断熱工法</td> <td>・D1-1 ・D1-2</td> <td>(厚さ) mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(9.2.2) 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※公住仕 表9.2.8</p> <p>・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ・R種 ・N種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※公住仕 表9.2.7及び表9.2.8</p> <p>・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ・R種 ・N種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>押え金物 ※アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度</p> <p>(9.2.3) 絶縁工法及び断熱絶縁工法の脱気機器の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定</p> <p>設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 個</p> <p>(9.2.2)(9.2.3) (表9.2.9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋内防水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防水層の種別</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋内密着工法</td> <td>・E-1 ・E-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(9.2.3) (表9.2.9) 保護層 設ける(※図示 ) 設けない</p> <p>E-1の工程3を行う場合の部位</p> <p>※貯水槽、浴室等の常時水に接する部位</p> <p>(9.2.4) 施工</p> <p>防水層の地下モルタル塗り</p> <p>・適用する(施工範囲 図示 ) 適用しない</p> <p>防水層の地下、立上りコンクリート打放し仕上げ</p> <p>※公住仕 表6.2.4のB種</p> <p>絶縁断熱工法のルーフレイン回り及び立上り周辺の断熱材の張りじまいの位置 図示</p> <p>(9.2.5) 保護層等の施工</p> <p>平場の保護コンクリートの厚さ</p> <p>こて仕上げ ※水下 80mm以上</p> <p>床タイル張り ※水下 60mm以上</p> <p>(9.2.5) 立上り部の保護工法</p> <p>・乾式保護材</p> <p>乾式保護材の材料</p> <p>・コンクリート押え</p> <p>・モルタル押え(屋内等)</p> <p>・れんがが押え( 図示 )</p> <p>れんがの材料</p> <p>・JIS R 1250(普通れんが及び化粧れんが)</p> <p>(9.2.5) 屋上排水溝の設置 図示</p>	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	屋根保護防水				種別				屋根保護密着工法	・A-1 ・A-2 ・A-3		※ポリスチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 またはフラットヤーンクロス70g/m <sup>2</sup> 程度	屋根保護絶縁工法	・B-1 ・B-2			屋根保護密着絶縁工法	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3	(厚さ) mm	※フラットヤーンクロス 70g/m <sup>2</sup> 程度	屋根保護絶縁断熱工法	・B1-1 ・B1-2			種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	屋根露出防水				種別				屋根露出絶縁工法	・D-1 ・D-2		※製造所の仕様	屋根露出絶縁断熱工法	・D1-1 ・D1-2	(厚さ) mm		種別	施工箇所	屋内防水		防水層の種別		屋内密着工法	・E-1 ・E-2	<p>9. 防水工事</p> <p>2. 改質アスファルトシート防水 (9.3.2)(9.3.3) (表9.3.1~表9.3.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>防湿用シート</th> <th>仕上塗料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋根露出密着工法</td> <td>・AS-T1 ・AS-T2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋根露出絶縁工法</td> <td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1</td> <td></td> <td></td> <td>※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>屋根露出絶縁断熱工法</td> <td>・AS1-T1 ・AS1-J1</td> <td>(種類) (厚さ) mm</td> <td>・設ける ・設けない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(9.3.2) 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※公住仕 表9.3.1から表9.3.3</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※公住仕 表9.3.2及び表9.3.3</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※公住仕 表9.3.2及び表9.3.3</p> <p>押え金物 ※アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度</p> <p>(9.3.3) 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定</p> <p>設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 個</p> <p>3. 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2)~(9.4.4) (表9.4.1) (表9.4.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>可塑性移行防止用シート</th> <th>断熱材</th> <th>防湿用フィルム</th> <th>歩行の仕様</th> <th>仕上塗料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接着工法</td> <td>・S-F1 ・S-F2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※非歩行用 ・軽歩行用</td> <td>※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>機械式固定工法</td> <td>・S-M1 ・S-M2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※非歩行用 ・軽歩行用</td> <td>※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>接着工法(断熱工法)</td> <td>・S1-F1 ・S1-F2</td> <td></td> <td>(種類) (厚さ) mm</td> <td></td> <td></td> <td>※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>機械式固定工法(断熱工法)</td> <td>・S1-F2</td> <td></td> <td>(種類) (厚さ) mm</td> <td>・設置する ・設置しない</td> <td></td> <td>※製造所の仕様</td> </tr> </tbody> </table> <p>(表9.4.3) 防水層の種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">保護層</th> </tr> <tr> <th>平場のモルタル塗り</th> <th>立上り部の保護モルタル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋内保護密着工法</td> <td>・S-C1</td> <td>塗厚(mm) 工法</td> <td>塗り厚さ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・床塗り ・下地モルタル塗り</td> <td>※7mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(9.4.2) ルーフィングシートの種類及び厚さ ※公住仕 表9.4.1~表9.4.3</p> <p>固定金具の形状及び寸法</p> <p>材質 ※防錆処理鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したものの</p> <p>厚さ(mm) ※0.4以上</p> <p>(9.4.3) 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様</p> <p>設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 個</p> <p>(表9.4.2) 断熱工法(S1-M1、S1-M2の場合)の防湿用フィルム</p> <p>・設置する 設置しない</p>	種別	施工箇所	断熱材	防湿用シート	仕上塗料	屋根露出密着工法	・AS-T1 ・AS-T2				屋根露出絶縁工法	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1			※製造所の仕様	屋根露出絶縁断熱工法	・AS1-T1 ・AS1-J1	(種類) (厚さ) mm	・設ける ・設けない		種別	施工箇所	可塑性移行防止用シート	断熱材	防湿用フィルム	歩行の仕様	仕上塗料	接着工法	・S-F1 ・S-F2				※非歩行用 ・軽歩行用	※製造所の仕様	機械式固定工法	・S-M1 ・S-M2				※非歩行用 ・軽歩行用	※製造所の仕様	接着工法(断熱工法)	・S1-F1 ・S1-F2		(種類) (厚さ) mm			※製造所の仕様	機械式固定工法(断熱工法)	・S1-F2		(種類) (厚さ) mm	・設置する ・設置しない		※製造所の仕様	種別	施工箇所	保護層		平場のモルタル塗り	立上り部の保護モルタル	屋内保護密着工法	・S-C1	塗厚(mm) 工法	塗り厚さ			・床塗り ・下地モルタル塗り	※7mm以下	<p>9. 防水工事</p> <p>4. 塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">保護層</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウレタン系塗膜防水</td> <td></td> <td>絶縁工法 ・X-1</td> <td></td> <td>※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>密着工法 ・X-2</td> <td></td> <td>※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ゴムアスファルト系塗膜防水</td> <td rowspan="2"></td> <td>・Y-1</td> <td>・地下外壁防水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・Y-2</td> <td>・屋内防水</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(9.5.3) ウレタンゴム系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※主材料の製造所の仕様</p> <p>設置数量 ※主材料の製造所の仕様 個</p> <p>5. ケイ酸質系塗布防水 (9.6.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・C-SU1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C-SUP</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>防水層の地下(壁及び天井)</p> <p>※コンクリート打放し仕上げ(公住仕 表6.2.4のB種)</p> <p>下地処理</p> <p>コンクリートの打継箇所の処理</p> <p>※公住仕9.6.4(2)(7)</p> <p>公住仕9.6.4(2)(4)及び(7)以外の下地処理 図示</p> <p>6. FRP塗膜防水 (9.7.2) (表9.7.1) (9.7.4)</p> <p>ルーフトレン</p> <p>種別 ・FRP塗膜防水用ルーフトレン ・鉄鈹製</p> <p>下地の構造</p> <p>根本掛の樹種、寸法及び防腐・防錆処理 図示</p> <p>根本掛の樹種、寸法、防腐、防錆及び防虫処理</p> <p>※公住仕9.7.4(2)(7)</p> <p>構造用合板の厚さ、防虫処理、表板の樹種等</p> <p>※12mm 図示</p> <p>下地用合板の厚さ、防虫処理、表板の樹種等</p> <p>※12mm 図示</p> <p>釘の留め付け間隔 ※150mm程度 図示</p> <p>木ねじの留め付け間隔 ※150mm程度 図示</p> <p>防火板の設置</p> <p>・設置する(種類: ※ケイ酸カルシウム10mm )</p> <p>・設置しない</p> <p>平場の勾配 ※1/100以上</p> <p>水切り金物、外壁材及び透湿防水シートと防水層の取り合いの詳細 図示</p> <p>7. 透湿防水シート、防水テープ及び改質アスファルトフェルト工事 (9.8.2)</p> <p>防水テープ</p> <p>両面防水テープの幅 ※50mm以上 図示</p> <p>バルコニー手すりの工法</p> <p>※公住仕9.8.3(2)(7)①~④</p> <p>手すり壁に設ける笠木の固定方法、形状及び仕上げ 図示</p> <p>8. シーリング (9.9.2)</p> <p>材料</p> <p>種類及び施工箇所</p> <p>※下表以外は公住仕 表9.9.1</p> <p>ただし、外装壁タイル接着張り目地の場合は11章に、カーテンウォール目地の場合は17章による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上げを行わない場合の施工箇所( )</p> <p>シーリング材の目地寸法 ※公住仕9.9.3(1)</p> <p>接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験</p> <p>9. 防水保証</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルト防水</td> <td>・10年</td> </tr> <tr> <td>改質アスファルトシート防水</td> <td>・10年</td> </tr> <tr> <td>合成高分子系ルーフィングシート防水</td> <td>・10年</td> </tr> <tr> <td>ウレタンゴム系塗膜防水</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>ケイ酸質系塗布防水</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>FRP塗膜防水</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種別	施工箇所	仕上塗料		保護層	種類	使用量	ウレタン系塗膜防水		絶縁工法 ・X-1		※製造所の仕様			密着工法 ・X-2		※製造所の仕様	ゴムアスファルト系塗膜防水		・Y-1	・地下外壁防水		・Y-2	・屋内防水		種別	施工箇所	・C-SU1		・C-SUP		施工箇所	種類	記号																種別	期間	アスファルト防水	・10年	改質アスファルトシート防水	・10年	合成高分子系ルーフィングシート防水	・10年	ウレタンゴム系塗膜防水	・	ケイ酸質系塗布防水	・	FRP塗膜防水	・	<p>(9.4.4) 接着工法の場合のPCコンクリート下地の目地処理</p> <p>・行う( 図示 ) ・行わない</p> <p>PCコンクリート下地の入隅部増張り (S-F1、S1-F1の場合)</p> <p>・行う ・行わない</p> <p>機械的固定方法の場合のルーフィングシートの張付け</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 図示</p> <p>防水層の種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> <th>保護層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※製造所の仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※製造所の仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ウレタン系塗膜防水</p> <p>絶縁工法 ・X-1</p> <p>密着工法 ・X-2</p> <p>※製造所の仕様</p> <p>※製造所の仕様</p> <p>地下外壁防水</p> <p>屋内防水</p> <p>ウレタンゴム系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>種類 ※主材料の製造所の仕様</p> <p>設置数量 ※主材料の製造所の仕様 個</p> <p>防水層の種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・C-SU1</p> <p>・C-SUP</p> <p>防水層の地下(壁及び天井)</p> <p>※コンクリート打放し仕上げ(公住仕 表6.2.4のB種)</p> <p>下地処理</p> <p>コンクリートの打継箇所の処理</p> <p>※公住仕9.6.4(2)(7)</p> <p>公住仕9.6.4(2)(4)及び(7)以外の下地処理 図示</p> <p>ルーフトレン</p> <p>種別 ・FRP塗膜防水用ルーフトレン ・鉄鈹製</p> <p>下地の構造</p> <p>根本掛の樹種、寸法及び防腐・防錆処理 図示</p> <p>根本掛の樹種、寸法、防腐、防錆及び防虫処理</p> <p>※公住仕9.7.4(2)(7)</p> <p>構造用合板の厚さ、防虫処理、表板の樹種等</p> <p>※12mm 図示</p> <p>下地用合板の厚さ、防虫処理、表板の樹種等</p> <p>※12mm 図示</p> <p>釘の留め付け間隔 ※150mm程度 図示</p> <p>木ねじの留め付け間隔 ※150mm程度 図示</p> <p>防火板の設置</p> <p>・設置する(種類: ※ケイ酸カルシウム10mm )</p> <p>・設置しない</p> <p>平場の勾配 ※1/100以上</p> <p>水切り金物、外壁材及び透湿防水シートと防水層の取り合いの詳細 図示</p> <p>防水テープ</p> <p>両面防水テープの幅 ※50mm以上 図示</p> <p>バルコニー手すりの工法</p> <p>※公住仕9.8.3(2)(7)①~④</p> <p>手すり壁に設ける笠木の固定方法、形状及び仕上げ 図示</p> <p>シーリング</p> <p>材料</p> <p>種類及び施工箇所</p> <p>※下表以外は公住仕 表9.9.1</p> <p>ただし、外装壁タイル接着張り目地の場合は11章に、カーテンウォール目地の場合は17章による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上げを行わない場合の施工箇所( )</p> <p>シーリング材の目地寸法 ※公住仕9.9.3(1)</p> <p>接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験</p> <p>防水保証</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルト防水</td> <td>・10年</td> </tr> <tr> <td>改質アスファルトシート防水</td> <td>・10年</td> </tr> <tr> <td>合成高分子系ルーフィングシート防水</td> <td>・10年</td> </tr> <tr> <td>ウレタンゴム系塗膜防水</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>ケイ酸質系塗布防水</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>FRP塗膜防水</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種別	施工箇所	仕上塗料	保護層			種類	使用量			※製造所の仕様				※製造所の仕様										種別	施工箇所											施工箇所	種類	記号																種別	期間	アスファルト防水	・10年	改質アスファルトシート防水	・10年	合成高分子系ルーフィングシート防水	・10年	ウレタンゴム系塗膜防水	・	ケイ酸質系塗布防水	・	FRP塗膜防水	・
用途	パネルの区分	単位荷重 (N/m <sup>2</sup> )	厚さ (mm)	幅及び長さ (mm)	耐火性能 (時間)	構法の種別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・外壁用	・一般 ・コーナー ・意匠	・平 ・意匠	・100	・図示	・有(1)	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・間仕切壁用	・一般 ・コーナー ・意匠	・平 ・意匠	・100	・図示	・有(1)	・C種 ・D種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・屋根版用	—	—	・100	・図示	・有(0.5)	・F種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・床版用	—	—	・100	・図示	・有( )	・F種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
工法	形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法の種別	耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・外壁パネル	・F (フラットパネル)	・50・60	600	・A種 ・B種	国土交通大臣の認定を受けたもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	・D (デザインパネル)	・50・60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・T (タイルベースパネル)	・60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・間仕切壁パネル	・F (フラットパネル)	・50・60	600	・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・D (デザインパネル)	・50・60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・T (タイルベースパネル)	・60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
屋根保護防水																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
屋根保護密着工法	・A-1 ・A-2 ・A-3		※ポリスチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 またはフラットヤーンクロス70g/m <sup>2</sup> 程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
屋根保護絶縁工法	・B-1 ・B-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
屋根保護密着絶縁工法	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3	(厚さ) mm	※フラットヤーンクロス 70g/m <sup>2</sup> 程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
屋根保護絶縁断熱工法	・B1-1 ・B1-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
屋根露出防水																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
屋根露出絶縁工法	・D-1 ・D-2		※製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
屋根露出絶縁断熱工法	・D1-1 ・D1-2	(厚さ) mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種別	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
屋内防水																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
防水層の種別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
屋内密着工法	・E-1 ・E-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種別	施工箇所	断熱材	防湿用シート	仕上塗料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
屋根露出密着工法	・AS-T1 ・AS-T2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
屋根露出絶縁工法	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1			※製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
屋根露出絶縁断熱工法	・AS1-T1 ・AS1-J1	(種類) (厚さ) mm	・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種別	施工箇所	可塑性移行防止用シート	断熱材	防湿用フィルム	歩行の仕様	仕上塗料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
接着工法	・S-F1 ・S-F2				※非歩行用 ・軽歩行用	※製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
機械式固定工法	・S-M1 ・S-M2				※非歩行用 ・軽歩行用	※製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
接着工法(断熱工法)	・S1-F1 ・S1-F2		(種類) (厚さ) mm			※製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
機械式固定工法(断熱工法)	・S1-F2		(種類) (厚さ) mm	・設置する ・設置しない		※製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種別	施工箇所	保護層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		平場のモルタル塗り	立上り部の保護モルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
屋内保護密着工法	・S-C1	塗厚(mm) 工法	塗り厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		・床塗り ・下地モルタル塗り	※7mm以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種別	施工箇所	仕上塗料		保護層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
ウレタン系塗膜防水		絶縁工法 ・X-1		※製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		密着工法 ・X-2		※製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ゴムアスファルト系塗膜防水		・Y-1	・地下外壁防水																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		・Y-2	・屋内防水																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種別	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・C-SU1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・C-SUP																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	種類	記号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種別	期間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
アスファルト防水	・10年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
改質アスファルトシート防水	・10年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
合成高分子系ルーフィングシート防水	・10年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
ウレタンゴム系塗膜防水	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
ケイ酸質系塗布防水	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
FRP塗膜防水	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種別	施工箇所	仕上塗料	保護層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		※製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		※製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種別	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	種類	記号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種別	期間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
アスファルト防水	・10年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
改質アスファルトシート防水	・10年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
合成高分子系ルーフィングシート防水	・10年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
ウレタンゴム系塗膜防水	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
ケイ酸質系塗布防水	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
FRP塗膜防水	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		工事名称	縮尺	図面 No																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		図面名称		4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													







<p>16. 建具工事</p> <p>1. 防火戸 (16.1.3)</p> <p>2. 見本の製作等 (16.1.4)</p> <p>3. 防犯建物部品 (16.1.6)</p> <p>4. アルミニウム製建具 (16.2.2)</p> <p>(16.2.4)</p> <p>(16.2.3) (16.6.3)</p> <p>(16.2.4) (16.4.4)</p> <p>(16.2.5)</p> <p>5. 網戸等 (16.2.3)</p> <p>6. 樹脂製建具 (16.3.2)</p> <p>(表16.3.1)</p> <p>(表16.3.2)</p> <p>(表16.3.3)</p> <p>(表16.3.4)</p> <p>(16.3.3)</p> <p>(16.3.4) (16.4.4)</p> <p>(16.3.4)</p> <p>(16.2.5) (16.3.5)</p> <p>7. 鋼製建具 (16.4.2)</p>	<p>適用 ※建具表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動閉鎖機構及び防火戸に連動させる装置</li> <li>・建具表 (・ヒューズ装置 ・熱感知器 ・煙感知器)</li> </ul> <p>建具見本の製作 ・行う (建具符号: ) ・行わない</p> <p>特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号: ) ・行わない</p> <p>・適用する (適用箇所 ・建具表 ) ・適用しない</p> <p>性能値等 (建具符号、枠の見込み寸法は建具表)</p> <p>※優良住宅部品 (B L 部品)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機材の品質・性能基準</li> <li>・その他 ( )</li> </ul> <p>耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・建具表 ・図示</p> <p>外部に面する建具の種類</p> <p>※公住仕 表16.2.1、表16.2.2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種</li> </ul> <p>・防音ドア、防音サッシとする場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遮音性の等級 (・T-1 ・T-2)</li> <li>・断熱ドア、断熱サッシとする場合</li> <li>・断熱性の等級 (・H-1 ・H-2 ・H-3)</li> </ul> <p>表面処理</p> <p>外部に面する建具</p> <p>種別 ・BB-1種 ・BB-2種</p> <p>着色 ・標準色 ・特注色</p> <p>屋内の建具</p> <p>種別 ・BC-1種 ・BC-2種</p> <p>着色 ・標準色 ・特注色</p> <p>ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</p> <p>ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL</p> <p>結露水の処理方法 ・図示</p> <p>水切り板、ぜん板 ・図示</p> <p>木下地の内付け建具</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用する (道具の製造所の仕様) ・適用しない</li> </ul> <p>防虫網の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂 ・ステンレス (SUS316) 製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> </tbody> </table> <p>性能値等 (建具符号、枠の見込み寸法は建具表)</p> <p>耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・建具表 ・図示</p> <p>外部に面する建具の種類</p> <p>※公住仕 表16.3.1、表16.3.2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種</li> </ul> <p>・防音ドア、防音サッシとする場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遮音性の等級 (・T-1 ・T-2)</li> <li>・断熱ドア、断熱サッシとする場合</li> <li>・断熱性の等級 ※外部に面する建具は公住仕 表16.3.3 (等級 ・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8)</li> </ul> <p>外部に面する建具の日射熱取得性の等級</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用する (等級 ・N-1 ・N-2 ・N-3)</li> <li>・適用しない</li> </ul> <p>ガラス ※複層ガラス ・単板ガラス ・三重ガラス</p> <p>ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL</p> <p>表面色</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準色 (ホワイト) ・特注色 (・ブラック ・ブロンズ ・シルバー)</li> </ul> <p>水切り板、ぜん板 ※HL</p> <p>木下地の内付け建具</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用する (建具の製造所の仕様) ・適用しない</li> </ul> <p>性能値等 (建具符号は建具表)</p> <p>玄関ドアの品質及び性能</p> <p>※優良住宅部品 (B L 部品)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機材の品質・性能基準</li> <li>・その他 ( )</li> </ul> <p>パイプシャフトドアの品質及び性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機材の品質・性能基準</li> <li>・その他 ( )</li> </ul> <p>簡易気密型ドアセットの気密性等級、水密性等級</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公住仕表 16.4.1 ・建具表</li> </ul> <p>外部に面する建具の耐風圧性 (公住仕 表16.2.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・S-4 ・S-5 ・S-6</li> </ul> <p>・耐震ドアとする場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内面変形追従性の等級 (・D-1 ・D-2)</li> <li>・防音ドア、防音サッシとする場合</li> <li>・遮音性の等級 (・T-1 ・T-2)</li> <li>・断熱ドア、断熱サッシとする場合</li> <li>・断熱性の等級 (・H-1 ・H-2 ・H-3)</li> </ul>	種類	材質	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂 ・ステンレス (SUS316) 製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	<p>16. 建具工事</p> <p>(16.4.3) (16.6.3)</p> <p>(16.4.3)</p> <p>(16.4.4)</p> <p>(16.4.6)</p> <p>8. 鋼製軽量建具 (16.5.2)</p> <p>(16.5.3)</p> <p>(16.5.4)</p> <p>(16.4.4)</p> <p>(16.5.6)</p> <p>9. ステンレス製建具 (16.6.2)</p> <p>(16.6.3)</p> <p>(16.6.4)</p> <p>(16.6.5)</p> <p>10. 木製建具 (16.7.2)</p> <p>ステンレス鋼板の種類 ※SUS 304、SUS 430J1L又はSUS443J1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点検口の類のくつずりの材料</li> <li>・鋼板類の厚さ (mm) ※公住仕 表16.4.2</li> <li>・ステンレス製くつずり仕上げ ※HL</li> <li>・標準型鋼製建具の有効内法寸法 (公住仕 表16.4.5)</li> <li>・適用する (建具符号、形式及び寸法は建具表)</li> </ul> <p>性能値等 (建具符号は建具表による)</p> <p>クロゼットドア 機材の品質・性能基準 ※適用する ・適用しない</p> <p>簡易気密型ドアセットの気密性等級 (・A-3 ・建具表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震ドアとする場合</li> <li>・内面変形追従性の等級 (・D-1 ・D-2)</li> <li>・防音ドア、防音サッシとする場合</li> <li>・遮音性の等級 (・T-1 ・T-2)</li> <li>・断熱ドア、断熱サッシとする場合</li> <li>・断熱性の等級 (・H-1 ・H-2)</li> </ul> <p>鋼板の種類 ・垂鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板</li> </ul> <p>召合せ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板</p> <p>鋼板の厚さ (mm) ※公住仕 表16.5.1</p> <p>ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL</p> <p>標準型鋼製建具の有効内法寸法 (公住仕 表16.4.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用する (建具符号、形式及び寸法は建具表)</li> </ul> <p>性能値等 (建具符号は建具表による)</p> <p>耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・建具表</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 (公住仕 表16.2.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・S-4 ・S-5 ・S-6</li> </ul> <p>・耐震ドアとする場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内面変形追従性の等級 (・D-1 ・D-2)</li> <li>・防音ドア、防音サッシとする場合</li> <li>・遮音性の等級 (・T-1 ・T-2)</li> <li>・断熱ドア、断熱サッシとする場合</li> <li>・断熱性の等級 (・H-1 ・H-2)</li> </ul> <p>ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</p> <p>表面仕上げ ※HL</p> <p>ステンレス鋼板のくつずりの仕上げ ※HL</p> <p>ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>内装ドア及びクロゼットドアの品質及び性能</p> <p>※優良住宅部品 (B L 部品)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機材の品質・性能基準</li> <li>・その他 ( )</li> </ul> <p>量産ふすまの品質及び性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機材の品質・性能基準</li> <li>・その他 ( )</li> </ul> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・B種</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放放量 ※F☆☆☆☆</p> <p>枠、くつずりの材料 ・建具表</p> <p>・フラッシュ戸</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>表面材の品質等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通合板</td> <td>接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上</td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td>接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上</td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板</td> <td>接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上</td> </tr> <tr> <td>・ミディアムデンシティブイパーボード (MDF)</td> <td>表裏面の状態による区分 ( ) 曲げ強さによる区分 ( ) 接着剤による区分 ( ) 難燃性による区分 ( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>表面材の材料のホルムアルデヒド放放量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・※公住仕 表16.7.2 (f) (a)</li> </ul> <p>表面板の厚さ ※公住仕 表16.7.6</p> <p>引戸の定規線 ・召し合せかまちをいんろうけきとする</p> <p>・かまち戸</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かまち樹種 ( ) 鏡板樹種 ( )</li> <li>見込み寸法 (mm) ※36 ・建具表</li> </ul> <p>・ふすま</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>種別、工法 ・I型 ・II型</li> <li>上張り ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙</li> <li>縁仕上</li> <li>・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンリキヤー塗装)</li> <li>見込み寸法 (mm) ※19.5 ・建具表</li> </ul>	合板の種類	表面材の品質等	・普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上	・天然木化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上	・特殊加工化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上	・ミディアムデンシティブイパーボード (MDF)	表裏面の状態による区分 ( ) 曲げ強さによる区分 ( ) 接着剤による区分 ( ) 難燃性による区分 ( )	<p>16. 建具工事</p> <p>11. 建具用金物</p> <p>(16.8.2)</p> <p>(表16.8.1)</p> <p>(16.8.2)</p> <p>(16.8.3)</p> <p>12. 鍵 (16.8.4)</p> <p>13. 自動ドア開閉装置 (16.9.2)</p> <p>14. 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)</p> <p>15. 重量シャッター (16.11.2)</p> <p>(16.11.3)</p> <p>・戸ぶすま</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表面材の種類、品質等 ( )</li> <li>見込み寸法 (mm) ※30 ・建具表</li> </ul> <p>・紙張り障子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見込み寸法 (mm) ※30 ・建具表</li> </ul> <p>量産ふすまの品質及び性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機材の品質・性能基準</li> <li>・その他 ( )</li> <li>形状、寸法、材質等 ・図示</li> </ul> <p>各住戸玄関扉用及び勝手口扉用錠前の品質及び性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※優良住宅部品 (B L 部品)</li> <li>・機材の品質・性能基準</li> <li>・その他 ( )</li> </ul> <p>各住戸玄関扉用及び内装扉用ドアクローザーの品質及び性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※優良住宅部品 (B L 部品)</li> <li>・機材の品質・性能基準</li> <li>・その他 ( )</li> </ul> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※公住仕 表16.8.1及び適用 (備考欄の特記事項も含め) は、建具表</li> </ul> <p>金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※公住仕 表16.8.2</li> </ul> <p>樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※公住仕 表16.8.3</li> </ul> <p>木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※公住仕 表16.8.4</li> </ul> <p>木製建具に使用する戸車及びレール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※公住仕 表16.8.5</li> </ul> <p>握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の位置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建具表</li> </ul> <p>マスターキー ・制作する ・制作しない</p> <p>各住戸玄関扉用及び勝手口扉の鍵</p> <p>錠前の種別 ※サムターン付きシリンドー面付箱錠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サムターン付きシリンドー形込箱錠</li> </ul> <p>タンブラー類の本数 ※6本</p> <p>鍵の本数 (扉1箇所につき) ※3本</p> <p>コンストラクションキー装置 ・適用する ・適用しない</p> <p>引違い戸、引違い窓の鍵</p> <p>鍵り金物 (クレセント等) が鍵付きの場合の鍵違い種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※6種類</li> <li>上記の鍵本数 (1住戸につき) ※3本</li> </ul> <p>戸の開閉方式 ・図示</p> <p>駆動装置の性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※引き戸用駆動装置の場合、公住仕 表16.9.1</li> <li>防錆の適用 ・適用する ・適用しない</li> </ul> <p>車椅子使用者用便房出入口の引き戸用駆動装置の性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※公住仕 表16.9.2</li> <li>防錆の適用 ・適用する ・適用しない</li> </ul> <p>検出装置の性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※引き戸用検出装置の場合 公住仕 表16.9.3</li> <li>防錆の適用 ・適用する ・適用しない</li> </ul> <p>引き戸用検出装置の性能は、公住仕 表16.9.3</p> <p>種類 ・光線 (反射) センサー ・熱線センサー ・音波センサー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光電センサー ・電波センサー</li> <li>・タッチスイッチ (無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ)</li> <li>・押しボタンスイッチ</li> <li>・車椅子使用者用便房スイッチ (・大形 (開・閉) 押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ)</li> </ul> <p>凍結防止装置 ・適用する ・適用しない</p> <p>性能 ※公住仕 表16.10.1 ・図示</p> <p>種類 ・管理用シャッター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁用防火シャッター</li> <li>・屋内用防火シャッター</li> <li>・防煙シャッター</li> </ul> <p>外壁開口部に設ける耐風圧強度 ( ) pa</p> <p>開閉方式 (公住仕 表16.11.1) ※電動式 (手動併用) ・手動式</p> <p>安全装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>急降下制動装置又は急降下停止装置 設置箇所 ・図示</li> <li>障害物感知装置 設置箇所 ・図示</li> <li>危害防止機構 設置箇所 ・図示</li> <li>管理用シャッターケース ・設ける ・設けない</li> </ul> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <p>種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</li> </ul> <p>めっきの付着量 ※Z12又はF12</p> <p>ステンレス鋼板</p> <p>種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</p>	<p>16. 建具工事</p> <p>16. 軽量シャッター (16.12.2)</p> <p>(16.12.3)</p> <p>(16.12.4)</p> <p>17. オーバーヘッドドア (16.13.2)</p> <p>18. ガラス (16.14.2)</p> <p>(16.14.3)</p> <p>19. ガラスブロック積み (16.14.5)</p> <p>開閉方式 ※手動式 ・電動式 (手動併用)</p> <p>耐風圧強度 ( ) pa</p> <p>電動式の場合の安全装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害物感知装置の設置箇所 ・図示</li> </ul> <p>スラットの材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>種類 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</li> <li>めっきの付着量 ※Z06又はF06</li> <li>・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)</li> <li>めっきの付着量 ※AZ90</li> </ul> <p>スラット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>種類 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形</li> </ul> <p>区分・材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>風圧力 (Pa) 区分</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※スチールタイプ</td> <td>・125</td> <td>※バランス式</td> <td>・スタンダード形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・アルミニウムタイプ</td> <td>・100</td> <td>・チェーン式</td> <td>・ローヘッド形</td> <td>めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・75</td> <td>・電動式</td> <td>・ハイリフト形</td> <td>ステンレス鋼板</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・50</td> <td></td> <td>・パーチカル形</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>電動式の場合の障害物感知装置の設置箇所 ・図示 ( )</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>厚さ等</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フロート板ガラス</td> <td>・図示 (※建具表 )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・型板ガラス</td> <td>・図示 (※建具表 )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・網入り板ガラス</td> <td>・図示 (※建具表 )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・合わせガラス</td> <td>・図示 (※建具表 )</td> <td>特性 ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類</td> </tr> <tr> <td>・強化ガラス</td> <td>・図示 (※建具表 )</td> <td>特性 ・I類 ・III類</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収板ガラス</td> <td>・図示 (※建具表 )</td> <td>性能 ・1種 ・2種</td> </tr> <tr> <td>・複層ガラス</td> <td>・図示 (※建具表 )</td> <td>性能 ・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種</td> </tr> <tr> <td>・熱線反射ガラス</td> <td>・図示 (※建具表 )</td> <td>日射熱遮熱性 ・1種 ・2種 ・3種</td> </tr> <tr> <td>・倍強度ガラス</td> <td>・図示 (※建具表 )</td> <td>耐久性 ・A種 ・B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>ガラス留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>・シーリング材 ・建築用ガスケット ※グレイジングチャンネル</td> <td>※建具の製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>・建築用ガスケット ・グレイジングビート</td> <td>※建具の製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>・シーリング</td> <td>※建具の製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>・シーリング</td> <td>※建具の製造所の仕様</td> </tr> </tbody> </table> <p>材料等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表面形状</th> <th>呼び寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>色調</th> <th>目地幅</th> <th>伸縮調整目地位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">正方形</td> <td>・160×160</td> <td>・95</td> <td>・切7 乳白</td> <td>※8~15</td> <td>※6mm以下ごとに幅10~25</td> </tr> <tr> <td>・200×200</td> <td>・95</td> <td>・</td> <td>・15~25</td> <td>※15以下 ・図示</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">長方形</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※6以上</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>壁用金属枠及び補強材 ・設ける (形状 ・図示 ) ・設けない</p> <p>材質 ※ステンレス鋼 (SUS304)</p> <p>寸法 ※径5.5mm</p> <p>形状 ※はしご形状復筋及び単筋</p> <p>化粧目地モルタルの色 ( )</p> <p>シーリングの種類 ( )</p> <p>金属製化粧カバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製</li> <li>寸法 ・図示</li> <li>形状 ・図示</li> </ul> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・図示</p> <p>木下地の場合の壁用金属枠の取付間隔 ( )</p> <p>目地部の横力骨の納まり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ガラスブロック製造所の仕様 ・図示</li> </ul>	セクション材料による区分	風圧力 (Pa) 区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料	※スチールタイプ	・125	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板	・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	めっき鋼板	・ファイバーグラスタイプ	・75	・電動式	・ハイリフト形	ステンレス鋼板		・50		・パーチカル形		種別	厚さ等	その他	・フロート板ガラス	・図示 (※建具表 )		・型板ガラス	・図示 (※建具表 )		・網入り板ガラス	・図示 (※建具表 )		・合わせガラス	・図示 (※建具表 )	特性 ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類	・強化ガラス	・図示 (※建具表 )	特性 ・I類 ・III類	・熱線吸収板ガラス	・図示 (※建具表 )	性能 ・1種 ・2種	・複層ガラス	・図示 (※建具表 )	性能 ・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種	・熱線反射ガラス	・図示 (※建具表 )	日射熱遮熱性 ・1種 ・2種 ・3種	・倍強度ガラス	・図示 (※建具表 )	耐久性 ・A種 ・B種	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	・シーリング材 ・建築用ガスケット ※グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様	樹脂製	・建築用ガスケット ・グレイジングビート	※建具の製造所の仕様	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング	※建具の製造所の仕様	ステンレス製	・シーリング	※建具の製造所の仕様	表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅	伸縮調整目地位置	正方形	・160×160	・95	・切7 乳白	※8~15	※6mm以下ごとに幅10~25	・200×200	・95	・	・15~25	※15以下 ・図示	長方形	・	・	・	・	※6以上	・	・	・	・	・
種類	材質	線径	網目																																																																																																																					
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂 ・ステンレス (SUS316) 製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																																					
合板の種類	表面材の品質等																																																																																																																							
・普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上																																																																																																																							
・天然木化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上																																																																																																																							
・特殊加工化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上																																																																																																																							
・ミディアムデンシティブイパーボード (MDF)	表裏面の状態による区分 ( ) 曲げ強さによる区分 ( ) 接着剤による区分 ( ) 難燃性による区分 ( )																																																																																																																							
セクション材料による区分	風圧力 (Pa) 区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料																																																																																																																				
※スチールタイプ	・125	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板																																																																																																																				
・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	めっき鋼板																																																																																																																				
・ファイバーグラスタイプ	・75	・電動式	・ハイリフト形	ステンレス鋼板																																																																																																																				
	・50		・パーチカル形																																																																																																																					
種別	厚さ等	その他																																																																																																																						
・フロート板ガラス	・図示 (※建具表 )																																																																																																																							
・型板ガラス	・図示 (※建具表 )																																																																																																																							
・網入り板ガラス	・図示 (※建具表 )																																																																																																																							
・合わせガラス	・図示 (※建具表 )	特性 ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類																																																																																																																						
・強化ガラス	・図示 (※建具表 )	特性 ・I類 ・III類																																																																																																																						
・熱線吸収板ガラス	・図示 (※建具表 )	性能 ・1種 ・2種																																																																																																																						
・複層ガラス	・図示 (※建具表 )	性能 ・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種																																																																																																																						
・熱線反射ガラス	・図示 (※建具表 )	日射熱遮熱性 ・1種 ・2種 ・3種																																																																																																																						
・倍強度ガラス	・図示 (※建具表 )	耐久性 ・A種 ・B種																																																																																																																						
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																																																																						
アルミニウム製	・シーリング材 ・建築用ガスケット ※グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様																																																																																																																						
樹脂製	・建築用ガスケット ・グレイジングビート	※建具の製造所の仕様																																																																																																																						
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング	※建具の製造所の仕様																																																																																																																						
ステンレス製	・シーリング	※建具の製造所の仕様																																																																																																																						
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅	伸縮調整目地位置																																																																																																																			
正方形	・160×160	・95	・切7 乳白	※8~15	※6mm以下ごとに幅10~25																																																																																																																			
	・200×200	・95	・	・15~25	※15以下 ・図示																																																																																																																			
長方形	・	・	・	・	※6以上																																																																																																																			
	・	・	・	・	・																																																																																																																			
工事名称		縮尺	図面 No																																																																																																																					
図面名称			7																																																																																																																					





19 内装工事	(19.7.2)	材料	種類	規格	防虫処理							
		・普通合板	表面の樹種名 ( ) 板面の品質 ( ) 厚さ(mm) ( )	・行う ・行わない								
		・天然木化粧合板	化粧板表面の樹種名 ( ) 厚さ(mm) ( )	・行う ・行わない								
	(19.7.2)	特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 表面性能 ( ) 厚さ(mm) ( )	・行う ・行わない								
		(19.7.3) (表19.7.3)	合板のホルムアルデヒド放射量 ※公仕仕19.7.2(2)(4)のいずれかによる									
	13. 壁紙張り (19.8.2)	(19.7.3) (表19.7.3)	合板類の張付け	・A種 ・B種								
		※天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。 ホルムアルデヒド放射量 ※F☆☆☆☆										
	(19.8.3)	種類	壁紙の種類			防火性能						
		施工箇所	紙	繊維	プラスチック	無機質	塩化ビニル	その他	・不燃 ・準不燃 ・難燃			
	14. 断熱材 (19.9.3～19.9.5)	(19.8.3)	施工	下地			種類					
			モルタル面及びせつこうラスタ一面の吸込止め塗布等の素地ごしえ コンクリート面の吸込止め塗布等の素地ごしえ せつこうボード面及びびけい種カシウム板面の吸込止め塗布等の素地ごしえ	・A種 ※B種 ・A種 ※B種 ・A種 ※B種								
	15. 発泡プラスチック系床下地張り 工法 (19.10.1)	(19.8.3)	工法	断熱材名	種類 (記号)	厚さ (mm)	施工箇所					
			・断熱材打込み工法	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし) ・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・フェノールフォーム断熱材	・種	・25	※図示					
	16. 乾式遮音二重床下地張り 工法 (19.11.1)	(19.10.1)	工法	断熱材名	種類 (記号)	厚さ (mm)	施工箇所					
			・断熱材現場発泡工法	・吹付け硬質ウレタンフォーム	※A種1又はA種1H	・25 ・30	※図示					
	17. 内装プレハブ工法 (19.12.2)	(19.11.1)	フェノールフォーム断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放射量 ※F☆☆☆☆	・断熱材あと張り工法 (S1工法等)	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし) ・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・フェノールフォーム断熱材	※3種b	・25	※図示				
			フェノールフォーム断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放射量 ※F☆☆☆☆									
20. ユニット及びその他の工事	(20.2.2)	フリーアクセスフロア	材料等			施工箇所	構造	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材
		・支柱調整式 ・置敷式	・500×500	・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット						
21. 排水工事	(20.2.3)	移動間仕切り	材料等			操作形式による種類	圧縮装置の操作形式	パネル表面材		遮音性能 (db/500Hz)		
		・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式	・鋼板 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上							
22. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み	(20.2.4)	トイレブース	材料等			パネル表面材の材質	脚部の種類	ドアエッジの材質		取付箇所		
		・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	※製造所の仕様 ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材								
23. サイディング	(20.2.5)	手すり	手すりユニットの品質及び性能			※優良住宅部品 (BL部品) ・機材の品質・性能基準 ・その他 ( )						
		種類	材質	形状	寸法 (mm)	支持寸法						
24. 階段滑り止め	(20.2.6)	階段滑り止め	補助手すりの品質及び性能			※優良住宅部品 (BL部品) ・機材の品質・性能基準 ・その他 ( )						
		種類	材質	形状	寸法 (mm)	取付方法						
25. 黒板及びホワイトボード	(20.2.7)	黒板	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・ステンレス製 (SUS304) ・黄銅板押出型材 ・アルミニウム製押出型材	形状	寸法 (mm)	取付方法	・ひも型 ・タイヤ型	・鋼製黒板 ・ほうろう黒板	・アルミニウム製枠 ・チョーク溝 ・チョーク入れ ・チョーク粉入れ				
26. 鏡	(20.2.8)	鏡	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
27. 表示	(20.2.9)	表示	補助手すりの品質及び性能			※優良住宅部品 (BL部品) ・機材の品質・性能基準 ・その他 ( )						
		種類	材質	形状	寸法 (mm)	取付方法						
28. 黒板及びホワイトボード	(20.2.10)	黒板	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
29. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.11)	乾式 (基準階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
30. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.12)	乾式 (1階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
31. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.13)	乾式 (和室タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
32. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.14)	乾式 (基準階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
33. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.15)	乾式 (1階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
34. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.16)	乾式 (和室タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
35. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.17)	乾式 (基準階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
36. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.18)	乾式 (1階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
37. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.19)	乾式 (和室タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
38. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.20)	乾式 (基準階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
39. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.21)	乾式 (1階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
40. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.22)	乾式 (和室タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
41. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.23)	乾式 (基準階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
42. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.24)	乾式 (1階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
43. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.25)	乾式 (和室タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
44. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.26)	乾式 (基準階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
45. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.27)	乾式 (1階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
46. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.28)	乾式 (和室タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
47. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.29)	乾式 (基準階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
48. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.30)	乾式 (1階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
49. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.31)	乾式 (和室タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
50. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.32)	乾式 (基準階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
51. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.33)	乾式 (1階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
52. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.34)	乾式 (和室タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
53. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.35)	乾式 (基準階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
54. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.36)	乾式 (1階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
55. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.37)	乾式 (和室タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
56. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.38)	乾式 (基準階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
57. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.39)	乾式 (1階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
58. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.40)	乾式 (和室タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
59. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.41)	乾式 (基準階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
60. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.42)	乾式 (1階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
61. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.43)	乾式 (和室タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
62. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.44)	乾式 (基準階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
63. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.45)	乾式 (1階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
64. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.46)	乾式 (和室タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
65. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.47)	乾式 (基準階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
66. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.48)	乾式 (1階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
67. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.49)	乾式 (和室タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
68. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.50)	乾式 (基準階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
69. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.51)	乾式 (1階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
70. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.52)	乾式 (和室タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
71. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.53)	乾式 (基準階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
72. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.54)	乾式 (1階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
73. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.55)	乾式 (和室タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
74. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.56)	乾式 (基準階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
75. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.57)	乾式 (1階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
76. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.58)	乾式 (和室タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
77. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.59)	乾式 (基準階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
78. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.60)	乾式 (1階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
79. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.61)	乾式 (和室タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
80. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.62)	乾式 (基準階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
81. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.63)	乾式 (1階タイプ)	材料等			種類	区分	種類	備考			
		・アルミ ・ステンレス ・スチール	形状	寸法 (mm)	取付方法	・床支持 ・壁支持 ・方立支持						
82. 乾式遮音二重床下地張り工法	(20.2.64)	乾式 (和室タイプ)	材料等			種類						

22	舗装工事	1. 路床 (22.1.3) (22.2.2)(22.2.3)	路床材料 種類 材料 厚さ(mm) ・盛土 公仕仕 表3.2.1により ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・表示 ・凍上抑制層 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 ・表示	22	舗装工事	(22.8.2)	クッション材 ・適用する(・砂 ・空練モルタル) ・適用しない 仕上り面の平坦性 ※コンクリート平板間の段差3mm以内	23	植栽	11. 新植・移植樹木、 芝等の枯保証 (23.4.2)(23.4.7)	新植樹木の枯保証の期間(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) ※引渡しの日から1年 ・無し 移植樹木の枯保証を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・無し	24	P C 工 法 に よ る 工 事	1. 関連設備工事	関連する設備工事が別契約の場合の施工区分 ※公仕仕24.1.3(7)。(4) 衛生、電気及びガス設備工事の穴埋め( )	
		(22.2.1)	透水性舗装のフィルター層の厚さ ・図示 路床安定処理 ・適用する ・適用しない 安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(・特号・1号) ・消石灰(・特号・1号) 添加量 ・ kg/m <sup>3</sup> (目標CBR ・3以上 ・5以上 ) 試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 路床の締固め度の試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない			(22.8.4)	インターロッキングブロックの割付 ・図示 仕上り面の平坦性 ※インターロッキングブロックの間の段差3mm以内			(23.5.2)(23.5.3)	12. 屋上緑化 (23.5.3)			植栽基盤及び材料 ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・図示 ・12cm ・30cm 排水層 軽量骨材(層の厚さ: ) ・板状成形品 植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土 ・屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類 樹種 寸法 株立数 ・図示 刈込みものの適用 ・適用する(数量: ) ・適用しない 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ・図示	(24.2.1)	2. PC部材製造 に用いる材料 及び部品 (24.2.1)
		2. 路盤 (22.1.3) (22.3.2)(22.3.3) (表22.3.1)	路盤材料 材料 厚さ(mm) ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生粒度調整砕石 ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ ・表示			(22.8.2)	クッション材 ・適用する(・砂 ・空練モルタル) ・適用しない 舗石の割付け ・図示 仕上り面の平坦性 ※舗石間の段差3mm以内			13. ウォール ・擁壁 (23.6.2)	調査 支持力試験 ・行う(方法: ) ・行わない 種類 ・現場打ち擁壁 ・プレキャスト擁壁 ・ブロック積(張)擁壁 材料 ※JIS A 5371 工法 ※谷積み ・石積(張)擁壁 材料 ※JIS A 5003 割石及び雑割石の規格 ・図示 工法 ※谷積み 雑割石積み、野面石積みの練積みの場合の目地仕上げ方法 ・図示 水抜きパイプの口径 ※75mm ・図示 ・その他擁壁 (・レンガウォール ・タイルウォール ・コンクリートブロックウォール)			3. PC部材の 製造 (24.3.2~24.3.4)	コンクリートの種類 ※公仕仕 表6.2.1	
		3. アスファルト 舗装 (22.4.2) (22.1.3)(22.4.3)	アスファルト舗装の構成及び厚さ ・図示 材料 アスファルト ・再生アスファルト(・60~80 ・80~100) ・ストレートアスファルト			8. 砂利敷き (22.9.2) (表22.9.1)	種類 通路 ※A種 ・図示 建物周囲その他 ※B種 ・図示( )			(23.6.5)	材料 ※JIS A 5371 工法 ※谷積み ・石積(張)擁壁 材料 ※JIS A 5003 割石及び雑割石の規格 ・図示 工法 ※谷積み 雑割石積み、野面石積みの練積みの場合の目地仕上げ方法 ・図示 水抜きパイプの口径 ※75mm ・図示 ・その他擁壁 (・レンガウォール ・タイルウォール ・コンクリートブロックウォール)			(24.2.5)	材料 鉄筋の種類 ※本特記仕様書「5.鉄筋工事」「1.鉄筋の種類」 鋼材の種類 ※本特記仕様書「7.鉄骨工事」「3.鋼材」 形状 ・図示 ( ) 寸法 ・図示 ( )	
		(22.4.4) (表22.4.4)	加熱アスファルト混合物の種類 区分 地域 種類 表層 ・一般地域 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・寒冷地域 ・密粒度アスファルト混合物(13F)			23	1. 植栽地の 確認等 (23.1.3)			(23.6.6)	材料 ※JIS A 5003 割石及び雑割石の規格 ・図示 工法 ※谷積み 雑割石積み、野面石積みの練積みの場合の目地仕上げ方法 ・図示 水抜きパイプの口径 ※75mm ・図示 ・その他擁壁 (・レンガウォール ・タイルウォール ・コンクリートブロックウォール)			(24.2.6)	接合用金物類 仕上り形状 ・図示 ( ) 寸法 ・図示 ( )	
		(22.4.6)	試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度			2. 植栽基盤の 整備 (23.2.2)	整備内容 植栽 工法 有効土層の厚さ(cm) 整備範囲(面積) 土壌改良材 ・樹木 ※A種 樹高12m以上(※100・120・150) ・葉張り部分 ・B種 樹高7m以上~12m未満(※80・100) ・植栽部分 ・C種 樹高3m以上~7m未満(※60・80) ・図示 ・D種 樹高3m未満(※50・60) ・適用する ・適用しない			(23.6.7)	材料 ※JIS A 5003 割石及び雑割石の規格 ・図示 工法 ※谷積み 雑割石積み、野面石積みの練積みの場合の目地仕上げ方法 ・図示 水抜きパイプの口径 ※75mm ・図示 ・その他擁壁 (・レンガウォール ・タイルウォール ・コンクリートブロックウォール)			(24.3.9)	PC部材及びPC部材接合部の最小かぶり厚さ 非耐力壁・床・屋根(mm) 耐力壁・柱・梁(mm) ※20 ※30	
		4. コンクリート 舗装 (22.5.2)	コンクリート舗装の厚さ 舗装の種類 部位 構成 厚さ(mm) コンクリート舗装 ・歩行者用通路 ・図示 ・※70 ・図示 ・車路及び駐車場 ・図示 ・ ・図示			3. 埋込み用土 (23.2.3)	・現場発生土の良質土 ・客土			(23.6.7)	材料 ※JIS A 5003 割石及び雑割石の規格 ・図示 工法 ※谷積み 雑割石積み、野面石積みの練積みの場合の目地仕上げ方法 ・図示 水抜きパイプの口径 ※75mm ・図示 ・その他擁壁 (・レンガウォール ・タイルウォール ・コンクリートブロックウォール)			(24.3.12)	タイル仕上げの製造方法 ※タイル打込み工法(先付け工法)	
		(22.5.3)	材料 コンクリート ※公仕仕 表22.5.1 ・図示 早強ポルトランドセメント ・使用する 法入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ			4. 土壌改良材 (23.2.3)(23.2.4)	種類・指定量 ・パーク堆肥 施工箇所 ・植栽範囲 ・図示 指定量 植栽基盤面積1m <sup>2</sup> 当たり(・ L ・ ) ・汚泥発酵肥料 施工箇所 ・植栽範囲 ・図示 指定量 植栽基盤面積1m <sup>2</sup> 当たり(・ L ・ )			(23.6.7)	材料 ※JIS A 5003 割石及び雑割石の規格 ・図示 工法 ※谷積み 雑割石積み、野面石積みの練積みの場合の目地仕上げ方法 ・図示 水抜きパイプの口径 ※75mm ・図示 ・その他擁壁 (・レンガウォール ・タイルウォール ・コンクリートブロックウォール)			(24.3.16)	4. PC部材の 補修 (24.3.16)	補修を要するPC部材の補修基準及び補修方法 ・図示
		(22.5.4)	施工:目地 種類及び間隔、構造 ※公仕仕 表22.5.3及び図22.5.1 ・図示			5. 樹木 (23.3.2)	樹種、寸法、株立数 ※図示 刈込みものの適用 ・適用する(数量: ) ・適用しない			(23.6.7)	材料 ※JIS A 5003 割石及び雑割石の規格 ・図示 工法 ※谷積み 雑割石積み、野面石積みの練積みの場合の目地仕上げ方法 ・図示 水抜きパイプの口径 ※75mm ・図示 ・その他擁壁 (・レンガウォール ・タイルウォール ・コンクリートブロックウォール)			(24.3.12)	5. 溶接施工 (24.6.6)(24.6.7)	添えプレートの材質 ・図示 フレアグループ溶接の余盛(mm) ・図示 溶接後の検査 超音波探傷試験 ・行う ・行わない
		(22.5.5)	舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度			6. 支柱 (23.3.2)	種類 ※丸太(間伐材) ・真竹 防腐処理方法 ※加圧防腐処理丸太材			(23.6.7)	材料 ※JIS A 5003 割石及び雑割石の規格 ・図示 工法 ※谷積み 雑割石積み、野面石積みの練積みの場合の目地仕上げ方法 ・図示 水抜きパイプの口径 ※75mm ・図示 ・その他擁壁 (・レンガウォール ・タイルウォール ・コンクリートブロックウォール)			(24.3.12)	6. スリブ継手 (その他接合含む) (24.7.1)	種類 施工箇所 材料等 施工方法 検査 ・スリブ継手 ・ ・図示 ・図示 ※行う (方法 ・判定基準)
		5. カラー舗装 (22.6.2~22.6.4) (表22.6.1)	・加熱系カラー舗装 構成・厚さ ・図示 表層に用いる加熱系舗装の結合材 ・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 顔料の添加量(%) 加熱系混合物に添加する材料 ・着色骨材( ) ・自然石( ) アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ※行わない			7. 幹巻き用材料 (23.3.2)	材料 ※幹巻き用テープ ・わら ・こも			(23.6.7)	材料 ※JIS A 5003 割石及び雑割石の規格 ・図示 工法 ※谷積み 雑割石積み、野面石積みの練積みの場合の目地仕上げ方法 ・図示 水抜きパイプの口径 ※75mm ・図示 ・その他擁壁 (・レンガウォール ・タイルウォール ・コンクリートブロックウォール)			(24.3.12)	7. 狭小部充填 コンクリート (24.9.1)	コンクリートの設計基準強度 ※(PC部材の設計基準強度以上)Fc( N/mm <sup>2</sup> ) 狭小部充填コンクリートの調査 ・図示 凍害を受ける場合の保温養生方法 ・図示
		(22.6.2~22.6.4) (表22.6.1)	・常温系カラー舗装 工法 ・ニート工法 ・塗布工法 着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装 ニート工法及び塗布工法の配合等			8. 芝 (23.4.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ 芝張りの工法 平地 ※目地張り ・べた張り 法面 ・目地張り ※べた張り			(23.6.7)	材料 ※JIS A 5003 割石及び雑割石の規格 ・図示 工法 ※谷積み 雑割石積み、野面石積みの練積みの場合の目地仕上げ方法 ・図示 水抜きパイプの口径 ※75mm ・図示 ・その他擁壁 (・レンガウォール ・タイルウォール ・コンクリートブロックウォール)			(24.3.12)	8. 敷きモルタル (24.10.1)	敷きモルタルの圧縮強度 ※(PC部材の設計基準強度以上)Fc( N/mm <sup>2</sup> )
		(22.6.6)	舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度			9. 吹付けは種 (23.4.2)	種類等 種子の種類 発芽率 種子の量(g/m <sup>2</sup> ) ※洋芝類(採集後2年以内) ※80%以上			(23.6.7)	材料 ※JIS A 5003 割石及び雑割石の規格 ・図示 工法 ※谷積み 雑割石積み、野面石積みの練積みの場合の目地仕上げ方法 ・図示 水抜きパイプの口径 ※75mm ・図示 ・その他擁壁 (・レンガウォール ・タイルウォール ・コンクリートブロックウォール)			(24.3.12)	8. 敷きモルタル (24.10.1)	敷きモルタルの圧縮強度 ※(PC部材の設計基準強度以上)Fc( N/mm <sup>2</sup> )
		6. 透水性 アスファルト 舗装 (22.7.2) (22.1.3)(22.7.3) (22.7.6)	舗装の構成 ※図示 材料 アスファルト ※再生アスファルト(・60~80 ・80~100) ・ストレートアスファルト 試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの			10. 地被類 (23.4.2)	種類等 植物の種類 芽立数 コンテナ径 単位面積当たりのコンテナ数			(23.6.7)	材料 ※JIS A 5003 割石及び雑割石の規格 ・図示 工法 ※谷積み 雑割石積み、野面石積みの練積みの場合の目地仕上げ方法 ・図示 水抜きパイプの口径 ※75mm ・図示 ・その他擁壁 (・レンガウォール ・タイルウォール ・コンクリートブロックウォール)			(24.3.12)	8. 敷きモルタル (24.10.1)	敷きモルタルの圧縮強度 ※(PC部材の設計基準強度以上)Fc( N/mm <sup>2</sup> )
		7. ブロック系舗装 (22.8.2)(22.8.3)	・コンクリート平板舗装 種類 寸法 厚さ(mm) 目地材 ・普通平板(N) ・300角 ※60 ・適用する ・透水平板(P) ・ ・(+砂 ・モルタル) ・保水性平板(M) ・ ・適用しない							(23.6.7)	材料 ※JIS A 5003 割石及び雑割石の規格 ・図示 工法 ※谷積み 雑割石積み、野面石積みの練積みの場合の目地仕上げ方法 ・図示 水抜きパイプの口径 ※75mm ・図示 ・その他擁壁 (・レンガウォール ・タイルウォール ・コンクリートブロックウォール)			(24.3.12)	8. 敷きモルタル (24.10.1)	敷きモルタルの圧縮強度 ※(PC部材の設計基準強度以上)Fc( N/mm <sup>2</sup> )